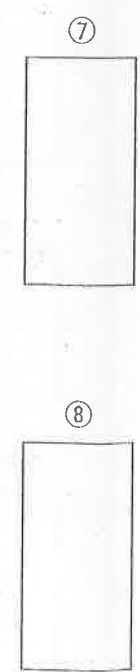
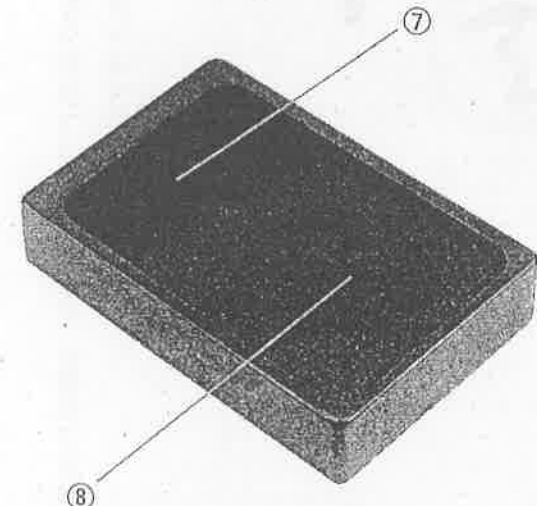
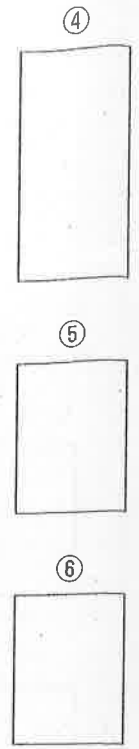
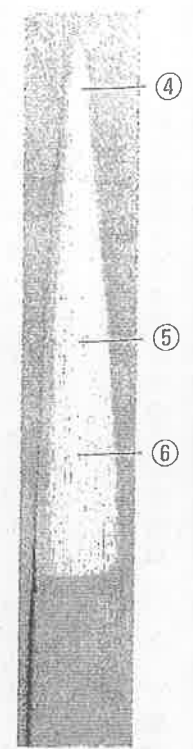
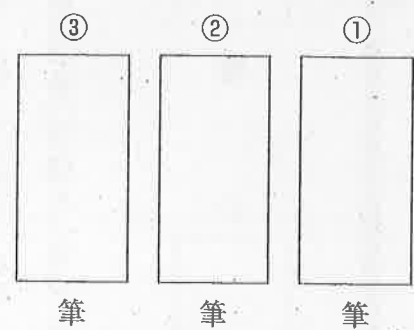
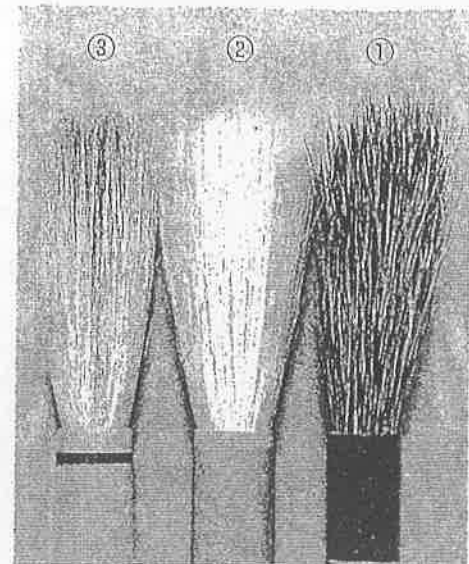


教科書を読み、答えは楷書で丁寧に書きましよう。

〈書へのいざない〉用具・用材／姿勢・執筆法

教科書 2~5 ページ

次に示す①～③の筆の種類と、④～⑧の各部の名称を答えましよう。

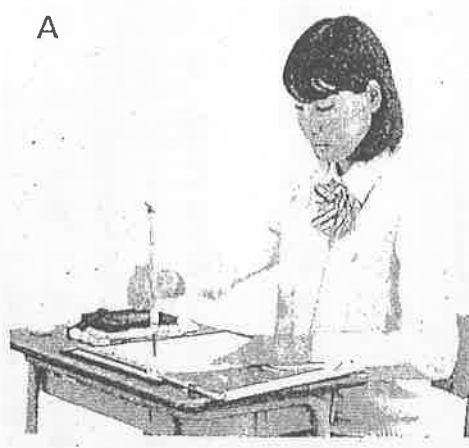


次の文章の ( ) に当てはまる語句を□に記入ましよう。

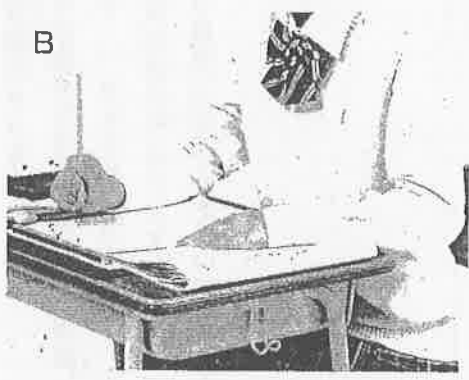
・筆・墨・硯・紙という四つの用具・用材は、古来 (ア) とよばれ、大切にされてきました。  
・筆は、筆毛の (イ) や穂の (ウ) によって、書いた時に線の味わいが違ってきます。  
・固形墨は、(エ) に膠や香料をまぜ、練って固めたもので、(エ) の原料が菜種などの (オ) と松材の松煙墨に分けられます。

ア □  
イ □  
ウ □  
エ □  
オ □

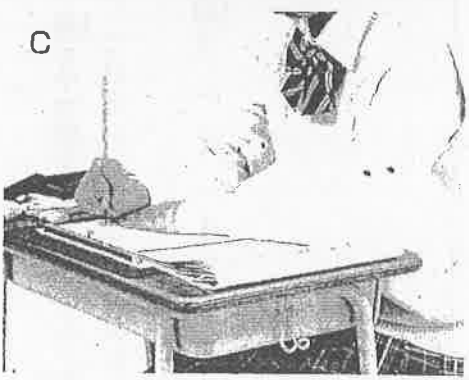
次に示す姿勢と筆の持ち方の名称を答えましよう。



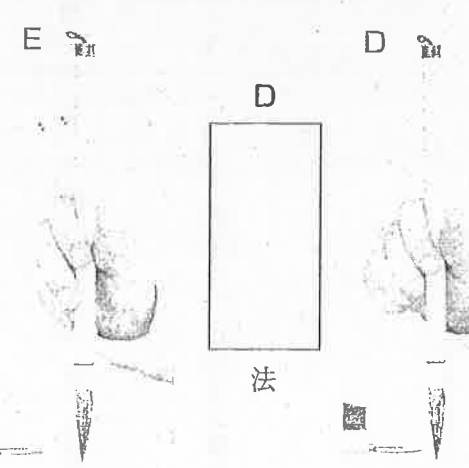
A □  
法



B □  
法



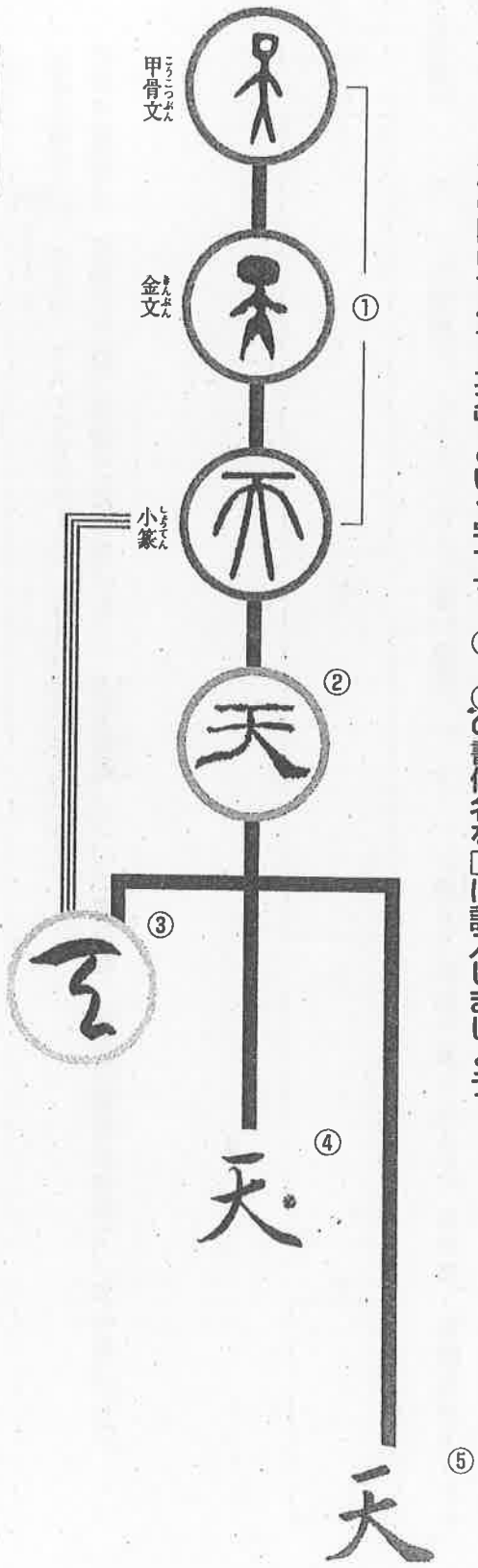
C □  
法



E □  
法

D □  
法

次の図はすべて「天」という字です。①〜⑤の書体名を□に記入しましょう。



- ① □ 書
- ② □ 書
- ③ □ 書
- ④ □ 書
- ⑤ □ 書

一次の文章の( )に当てはまる語句を□に記入しましょう。

- ・漢字は(ア)で生まれた文字ですが、起こった時期や当初の字形は明らかではありません。
- ・現在確認できる漢字の最古の書体は(イ)書です。その(イ)書を実用のために速書きする過程で点画の(ウ)が進むなどして漢時代に完成したのが(エ)書です。
- ・今日、私たちが日常生活で最もよく使用する(オ)書は、漢字の五つの書体の中で最も遅れて成立した書体です。
- ・(カ)は、(ア)から伝来した漢字をもとに日本で生まれた文字です。

- ア □
- イ □
- ウ □
- エ □
- オ □
- カ □

次の( )に当てはまる語句を□に記入しましょう。

- 平仮名 (B) 仮名 片仮名

- ア □ 漢字の(A)書をもとに生まれたわが国独自の文字。
- イ □ 平仮名とは(C)を異にしたり、くずし方の違う仮名。
- ウ □ 片仮名
- エ □ (D)の部分を取ったり、略すなどして作られた仮名。

漢字の書の学習

長い歴史の中で淘汰されながらも現代に伝わる先人の優れた筆跡を、(ア)といいます。(ア)には、肉筆や、石などに刻された(イ)や摩崖(まがい)という形式のものがあります。

書の学習の基本は、肉筆や(ウ)などを手本に習うことで、これを(エ)といいます。

(エ)には、(ア)の字形や用筆などを写真的に習う形臨(けいりん) 趣(おもむ)きや原理を汲み取るうとして習う(オ)臨(りん)、(ア)を十分習った後で(ア)を見ずに書く背臨(はいりん)があります。

- ア □
- イ □
- ウ □
- エ □
- オ □

楷書の古典に学ぼう

P. 18-19 孔子廟堂碑について記述した次の文章の( )に当てはまる語句を□に記入しましょう。

孔子廟堂碑は、(ア)の太宗が、学芸振興のため都長安に孔子の霊を祀る廟を再建した際の記念碑で、(イ)の一人である虞世南(読み ウ)が、撰文と書写の命を受け作りました。  
 ・伸びやかな横画や(エ)が特徴で、力を内に含んだ強い線質、(オ)な趣きと気品の高さにより、古来高く評価されています。

ア □  
 イ □  
 ウ □  
 エ □  
 オ □

古典を観察し、右側の空欄に硬筆で書きましょう。拓が破損している部分は、左側の硬筆を参考に見てみましょう。

(鉛筆の場合は2B、または、ゲルインクのボールペンや万年筆などを使用しましょう。)

属 屬 聖 期 大 唐 運 齋 九 五

属 屬 聖 期 大 唐 運 齋 九 五

皇 帝 欽 明 睿 哲 參 天 兩 地

皇 帝 欽 明 睿 哲 參 天 兩 地

迺 聖 迺 神 允 文 允 武 經 綸

迺 聖 迺 神 允 文 允 武 經 綸

九成宮醴泉銘について記述した次の文章の( )に当てはまる語句を□に記入しましょう。

・九成宮醴泉銘は、唐の(ア)が、ていしつ帝室の離宮である九成宮に避暑に訪れた際、偶然にもおいしい水の湧き出る場所を見つけたことを記念して建てられた碑で、びやう魏徵が撰文し、(イ)が書写の命を受け作りました。  
・九成宮醴泉銘は、引き締まった(ウ)の構えと厳正な用筆で品格が高く、古来(エ)と評されています。

ア

イ

ウ

エ

古典を観察し、右側の空欄に硬筆で書きましょう。拓が破損している部分は、左側の硬筆を参考にしてみましょう。  
(鉛筆の場合は2B、または、ゲルインクのボールペンや万年筆などを使用しましょう。)

四 方 遠 乎 立 年 撫 臨

四 方 遠 乎 立 年 撫 臨

億 兆 始 以 武 功 壹 海

億 兆 始 以 武 功 壹 海

内 終 以 文 德 懷 遠 人

内 終 以 文 德 懷 遠 人

雁塔聖教序について記述した次の文章の( )に当てはまる語句を□に記入しましょう。

・雁塔聖教序は、(ア)三蔵法師(さんざうほうし)がインドから(イ)を持ち帰り、それを漢訳(かんでく)した功績(こうせき)をたたえるため、唐の太宗(たいそう)が(ウ)、皇太子(こうたい)が記を作り、褚遂良(そじりょう) (読み エ)が書写したものを二つの碑に刻したものです。  
・雁塔聖教序は、筆の(オ)を生かした軽快で(カ)のある清らかな細い線が特徴で、初唐(しよたう)の楷書において独特の境地を示しました。

オ	ア
カ	イ
	ウ
	エ

古典を観察し、右側の空欄に硬筆で書きましょう。拓(たく)が破損(はま)している部分は、左側の硬筆を参考にしてみましょう。  
(鉛筆の場合は2B、または、ゲルインクのボールペンや万年筆などを使用しましょう。)

足 比 其 清 華 仙 露 明 珠

之 比 其 清 華 仙 露 明 珠

詎 能 方 其 朗 潤 故 智

詎 能 方 其 朗 潤 故 智

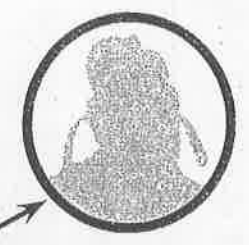
無 累 神 測 未 形 超 六 塵

無 累 神 測 未 形 超 六 塵

〈歴史の扉〉世界に開かれた帝国・唐

次の①～④の□に人物名を漢字で記入しましょう。また、下の文章の( )に当てはまる語句を□に記入しましょう。

- ① □
- ② □
- ③ □



(557～641)



(558～638)



(596～658)



(598～649)

④ 唐

②らとともに弘文館  
学士に任命

皇太子の頃から  
信任

①・②の死後、  
厚く信任

- ア □
- イ □
- ウ □
- エ □

唐の第二代皇帝(④)は、官僚制を整備し、儒学や文学を奨励するなどして安定した時代を築いた名君で、彼の治世は(ア)と称されています。(④)は(イ)の書を愛好し、自身も(ウ)書を得意とするとともに、学者であり官僚であった(①)・(②)・(③)の三人を、政治と文化を推進するためのブレーンとして重用しました。彼らは書の名手でもあり、「(エ)」とよばれ、後世に大きな影響を与えました。

ウイ

P.26~27

顔氏家廟碑について記述した次の文章の( )に当てはまる語句を□に記入しましょう。

顔氏家廟碑は、(ア)が父惟貞を祀った廟に、顔氏一族のことを記した文を作り書写した碑で、現在は(イ)博物館に収蔵されています。

文字は(ウ)いっぱい一点一画入念に書かれ、(エ)の構えで重厚です。また、蚕頭燕尾の特徴を持つ筆法は、顔法と呼ばれ、楷書にまったく新しい局面を開きました。

- ア □
- イ □
- ウ □
- エ □